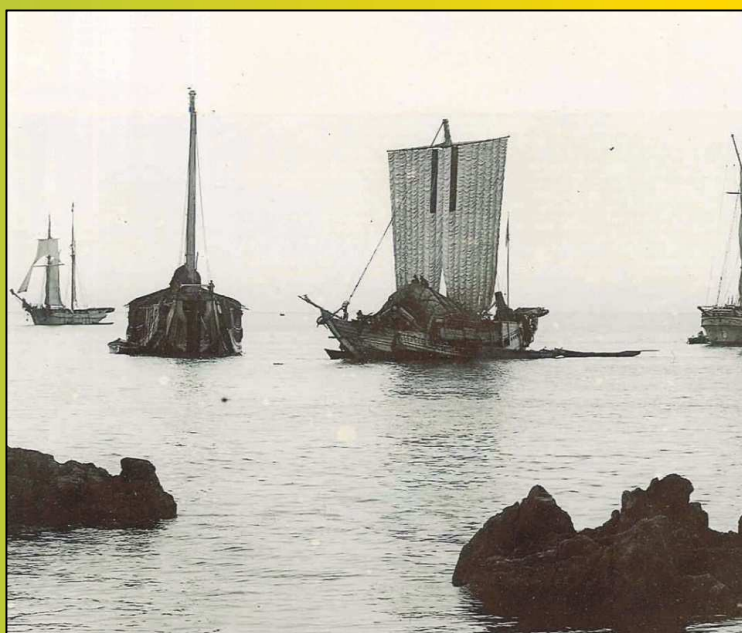


ふるさと歴史講座

「北前船と蝦夷地・北海道」



「立岩前の北前船」(小樽市総合博物館 奥山コレクション所蔵資料)

画像提供：小樽市総合博物館



加賀の海運商 広海二三郎が北海道の交易拠点とした小樽市の「旧広海倉庫」
画像提供：高野宏康氏

「海の総合商社」と呼ばれ、江戸時代から明治期にかけて、蝦夷地（北海道）と本州各地を結び、数多くの交易品を運んだ「北前船」。この講座では、北前船が北海道の産業・文化に与えた影響、北海道のルーツとの関わりなど、私たちがこれまで抱いていたイメージとは異なる、北海道の視点から見た「意外な」北前船の姿について解説します。

講師 高野 宏康氏

(小樽商科大学グローバル戦略推進センター 学術研究員 博士(歴史民俗資料学))

日時：令和2年2月29日(土) 13:30～

会場：野幌公民館 2階 研修室3・4号(野幌町13番地の6)

定員：60名(先着)

受講料：無料

申込み：電話または直接来館してお申込みください。

2月4日(火)から受付開始。

【申込み・問合せ先】江別市郷土資料館(緑町西1丁目38番地)

電話385-6466

※お願い

会場は駐車スペースが少ないため、公共交通機関の利用にご協力お願いいたします。
運営の都合上、事前申込みなしでの当日参加はご遠慮願います。